

動物実験に関する自己点検・評価報告書

日本医科大学

平成 28 年 4 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

日本医科大学動物実験規程、日本医科大学動物実験委員会運営細則、
日本医科大学における実験動物の飼育施設、飼養保管及び動物実験に関する細則

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

動物実験規程および細則は、平成18年6月に告示された文部科学省の基本指針に則して平成19年4月1日に改正施行した。

4) 改善の方針、達成予定期

該当せず。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検の対象とした資料

日本医科大学動物実験規程、日本医科大学動物実験委員会運営細則

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

文部科学省の基本指針に則した動物実験委員会が設置されている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当せず。

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

日本医科大学動物実験規程、日本医科大学動物実験委員会運営細則、動物実験計画書式、

日本医科大学における実験動物の飼育施設、飼養保管及び動物実験に関する細則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 文部科学省の基本指針に則した立案、審査、承認、結果報告が行われている。
4) 改善の方針、達成予定期限 該当せず。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果
<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 □ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料
日本医科大学動物実験規程、 日本医科大学における実験動物の飼育施設、飼養保管及び動物実験に関する細則、 学校法人日本医科大学組換えDNA実験安全管理規則、感染実験室使用申込書 日本医科大学感染動物実験安全管理要領
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験については、動物実験委員会に動物実験計画書を提出する前に、各委員会の承認が必要となる。遺伝子組換え動物実験については「学校法人日本医科大学組換えDNA実験安全管理規則」に従って組換えDNA実験安全委員会が審査承認を行っている。感染動物実験については、感染実験委員会にて審査承認を行っている。
4) 改善の方針、達成予定期限 該当せず。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果
<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
日本医科大学動物実験規程、 日本医科大学における実験動物の飼育施設、飼養保管及び動物実験に関する細則、

学校法人日本医科大学組換えDNA実験安全管理規則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 日本医科大学の実験動物の飼養保管施設として実験動物管理室が飼育管理を行っている2箇所に動物の飼育および実験施設が集約されている。また、遺伝子組換え実験および動物飼育については登録が義務付けられており組換えDNA実験安全委員会が審査承認を行っている。その他の動物実験施設については動物実験委員会への申請が必要となっている。
4) 改善の方針、達成予定期限 該当せず。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

日本医科大学動物実験規程、日本医科大学動物実験委員会運営細則、

日本医科大学における実験動物の飼育施設、飼養保管及び動物実験に関する細則

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

日本医科大学動物実験規程、日本医科大学動物実験委員会運営細則および日本医科大学における実験動物の飼育施設、飼養保管及び動物実験に関する細則に従った運営がなされている。

4) 改善の方針、達成予定期限

該当せず。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

日本医科大学動物実験規程、日本医科大学動物実験委員会運営細則、 日本医科大学における実験動物の飼育施設、飼養保管及び動物実験に関する細則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会に提出された動物実験計画書については、メール添付の電子媒体で書式のチェック、内容の事前審査を行い、次いで委員会での審査承認となる。必要に応じて動物実験計画書責任者への質疑応答および再審査を行っており、基本指針に即していると思われる。
4) 改善の方針、達成予定時期 報告書においては可能限り提出を求める。

3. 安全管理をする動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 日本医科大学動物実験規程、 日本医科大学における実験動物の飼育施設、飼養保管及び動物実験に関する細則、 学校法人日本医科大学組換え DNA 実験安全管理規則 日本医科大学感染動物実験安全管理要領
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） P3A 以上の封じ込めレベルの必要な病原体を用いた感染実験、RI を用いた動物実験は行われていない。遺伝子組換え実験においては、本学の規程および指針に則した実験が実施され、事故または違反はなかった。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
--

2) 自己点検の対象とした資料 実験動物管理室飼育管理マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物管理室室長と施設職員代表者による月一度のミーティングで管理者に現況報告を行っている。週一度、施設職員によるミーティングを行い飼養保管についての業務内容の把握と改善に努めている。また、実験者との連絡を密にして適正な飼育管理に努めている。
4) 改善の方針、達成予定期限 該当せず。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 実験動物管理室飼育管理マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼育機器については、飼育ケージ、給水瓶、給水装置の更新が適宜行われており、適正な飼育環境が維持されている。
4) 改善の方針、達成予定期限 該当せず。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験実施予定者届、動物実験講習会参加者記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験および動物飼育関係者は毎年、動物実験実施予定者届に登録を行い、動物実験講習会の受講が義務付けられている。飼養者については内部で2週間程度の研修を行っている。また、実験動物管理者は外部で行われる研修会や学会に参加して情報の習得を行っている。

4) 改善の方針、達成予定期
該当せず。

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

日本医科大学研究業績年報

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

情報公開として日本医科大学研究業績年報へ動物実験計画書数、使用動物数および実験動物管理室の利用状況などを記載している。日本医科大学研究業績年報はホームページからリンクされている。

4) 改善の方針、達成予定期

平成28年度内にホームページでの公開を予定している。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

